

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	外国語・英語語法理解B	学年	第3学年	教科書	いっぴな書店「Grammar Collection select version 英文法・語法問題集」 美誠社「フレイクスルー総合英語」
		単位数	2単位	副教材	

学習目標 英語の基礎的な文法・イディオムの知識や会話表現を習得し、運用できる能力を養う。また、多様な問題形式で実践的な演習を通して、大学入試等に対応できる学力を養うことを目指します。

学習方法 授業前に、家庭での予習を心がけ、不明な点や疑問点を見つけておく。授業の中で、問題に対処する知識や考え方を掴み、予習時の不明な点や疑問点を解消する。授業後に、家庭での復習を心がけ、反復学習を通して実力をつける。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	①	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語を学んでいく中で、その言語そのもの及び背景となる文化に対して関心を深め、習得を目指す。	
	②	外国語表現の能力	学ぼうとする英語を使って、相手とのコミュニケーションを図る力を養う。	
	④	言語や文化についての知識・理解	英語の単語の用法や様々な表現を知識として習得し、理解を深める。	

評価の観点	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③	④言語や文化についての知識・理解	⑤
授業態度	◎				
提出物	○				
小テスト		○		○	
定期テスト		◎		◎	
観点別比重	25%	25%		50%	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1 学期	時制	4	1 時制	1 現在時制・過去時制・未来時制の用法 2 進行形の用法 3 進行形にできない動詞 4 完了形の用法 5 have been to A と have gone to 6 完了進行形の用法 7 時・条件の副詞節—未来の内容でも現在時制 8 when 節の区別 9 if 節の区別 10 be going to do の用法 11 時間の経過の表現	①学習事項に関心を持ち、課題や提出物を期日までにしっかり仕上げ、意欲的に学ぼうとしている。 ②学んだ英語を活用して、自分の表現したいことを正確に話したり、書くことができている。 ③日本語と英語の構造上の差異を理解し、基礎的な文法事項(用法)・構文・イディオム等について運用の知識が身に付いている。	・授業への取り組み ・課題提出状況 ・小テスト ・定期試験
	受動態	4	2 受動態	12 受動態の基本 13 助動詞を含む受動態 14 完了形の受動態 15 進行形の受動態 16 群動詞の受動態 17 by 以外の前置詞を用いる受動態		
	助動詞	3	3 助動詞	18 may の用法 19 can の用法 20 must の用法 21 have to do の用法 22 should/ought to の用法 23 would rather の用法 24 had better の用法 25 used to do と would (often) の用法 26 may[must/cannot] have done の用法 27 should[ought to/need not] have done の用法 28 助動詞を用いた慣用表現		
	仮定法	3	4 仮定法	29 仮定法過去 30 仮定法過去完了 31 仮定法過去と仮定法過去完了の組み合わせ 32 if S were to do/if S should do 33 S wish + 仮定法 34 If only + 仮定法/S would rather + 仮定法 35 as if + 仮定法 36 it is time + 仮定法過去 37 if it were not for A/if it had not been for/ but for A/without A 38 if の省略 39 if 節に相当する語句		
	イディオム	1	重要イディオム I	動詞を中心とするイディオム①		
	不定詞	4	5 不定詞	40 不定詞の名詞用法 41 不定詞の形容詞用法 42 不定詞の副詞用法 43 <結果>を表す不定詞 44 不定詞の否定形 45 不定詞の意味上の主語 46 it is + 形容詞 + of A to do 47 完了不定詞 48 代不定詞 49 程度を表す不定詞の慣用表現 50 目的を表す不定詞の慣用表現 51 原型不定詞 52 be 動詞 + to do 53 独立不定詞 54 動名詞の基本用法		

2 学 期	動名詞	3	6 動名詞	55 動名詞の意味上の主語 56 動名詞の否定形と受動態の動名詞 57 完了動名詞 58 「…してもむだである」の表現 59 前置詞toの後に動名詞が続ける表現 60 (in) doingを用いる表現 61 その他の動名詞を用いた表現		
	分詞	4	7 分詞	62 名詞を修飾する現在分詞 63 名詞を修飾する過去分詞 64 主格補語の分詞 65 目的格補語の分詞 66 知覚動詞+ O + do/doing/done 67 make oneself understood/make oneself heard 68 分詞構文の基本形 69 分詞構文の否定形、完了分詞構文、受動態の分詞構文 70 付帯状況を表す<with + 名詞 + 分詞> 71 慣用的な分詞構文		
	イディオム	1	重要イディオムII	動詞を中心とするイディオム②		
	動詞の語法①	3	8 動詞の語法①	72 目的語として動名詞を後に続ける動詞 73 目的語として不定詞を後に続ける動詞 74 目的語が動名詞と不定詞で意味が変わる動詞 75 使役動詞(let/make/have)の語法 76 getの語法 77 SVO + doの形をとる知覚動詞(see/hear/feelなどの)語法 78 SVO to doの形をとる動詞 79 SV that S [should] doの形をとる動詞 80 SVCの形をとる動詞	①学習事項に関心を持ち、課題や提出物を期日までにしっかり仕上げ、意欲的に学ぼうとしている。 ②学んだ英語を活用して、自分の表現したいことを正確に話したり、書くことができている。 ③日本語と英語の構造上の差異を理解し、基礎的な文法事項(用法)・構文・イディオム等について運用の知識が身に付いている。	・授業への 取り組み ・課題提出 状況 ・小テスト ・定期試験
	動詞の語法②	3	9 動詞の語法②	81 自動詞と間接えやすい他動詞・他動詞と間接えやすい自動詞 82 SVOOの形をとる注意すべき動詞 83 自動詞と他動詞で意味と活用を混同し、やすい動詞 84 say/tell/speak/talkの区別 85 remind A of Bの形をとる動詞 86 rob A of Bの形をとる動詞 87 prevent A from doingの形をとる動詞 88 provide A with Bの形をとる動詞 89 「貸し借り」の意味を表す動詞 90 helpの語法		
	イディオム	1	重要イディオムIII	動詞を中心とするイディオム③		
	関係詞	3	10 関係詞	91 主格・目的格 92 所有格 93 先行詞が関係詞節中で前置詞の目的語になる場合 94 関係副詞 95 関係詞の非制限用法 96 all of whomなどのパターン 97 前の文の内容を先行詞とするwhich 98 関係代名詞 whatの用法 99 関係代名詞 whatを用いた慣用表現 100 連鎖関係詞節 101 whoever, whatever, whicheverの用法 102 wherever, whenever, howeverの用法		
	接続詞	3	11 接続詞	103 等位接続詞 104 等位接続詞を用いた相關的な表現 105 名詞節を導く接続詞 that 106 同格 107 名詞節を導く whether/if 108 「時」を表す副詞節を導く接続詞 109 「…するとすぐに」の表現 110 「理由」を表す接続詞 111 「条件」を表す接続詞 112 「譲歩」を表す接続詞 113 「結果・程度」を表す接続詞 114 「目的」を表す接続詞 115 接続詞 as[so] far as …と as[so] long as … 116 接続詞 whileの用法 117 接続詞 asの用法		
	前置詞	3	12 前置詞	118 時・場所を表す前置詞at, on, inの基本用法 119 紛らわしい前置詞の区別 120 賛否・類似・相違などを表す前置詞 121 手段を表す前置詞 122 付帯状況・所有・着用などを表す前置詞 123 論理関係を表す前置詞 124 注意すべき意味を持つ前置詞 125 抽象名詞とともに用いる前置詞 126 定冠詞theとともに用いる前置詞 127 「理由」を表す前置詞 128 「譲歩」を表す前置詞 129 「話題・観点・目的」を表す群前置詞 130 それ以外の重要な群前置詞		
	イディオム	1	重要イディオムIV	形容詞・副詞を中心とするイディオム		
	形容詞の語法	3	13 形容詞の語法	131 数・量を表す形容詞の用法 132 分詞形容詞 133 補語としてのみ用いられる形容詞 134 人を主語に用いない形容詞 135 「できる/できない」を表す形容詞 136 「高い/安い」「多い/少ない」を表す形容詞 137 worthの用法 138 形と意味の区別が紛らわしい形容詞 139 意味と用法に注意すべき形容詞		

3 学期	副詞の語法	2	14 副詞の用法	140 already / yet / still の用法 141 ago / before の用法 142 hardly / seldom / almost の用法 143 -lyがつくと意味が変わる副詞 144 意味・用法に注意すべき副詞 145 文と文の論理関係を示す表現(ディスコースマーカー)	①学習事項に関心を持ち、課題や提出物を期日までにしっかり仕上げ、意欲的に学ぼうとしている。 ②学んだ英語を活用して、自分の表現したいことを正確に話したり、書くことができている。 ③日本語と英語の構造上の差異を理解し、基礎的な文法事項(用法)・構文・イディオム等について運用の知識が身に付いている。	・授業への取り組み ・課題提出状況 ・小テスト ・定期試験
	比較	3	15 比較	146 原級を用いた比較 147 倍数表現 148 原級を用いた慣用表現 149 原級を用いて数量の多少を強調する表現 150 比較級を用いた表現 151 <the + 比較級>を用いた表現 152 <no + 比較級 + than>などを用いた表現 153 no more ... than / no less ... than の表現 154 比較級を用いた慣用表現 155 比較対象に前置詞toを用いる表現 156 最上級を用いた表現 157 原級や比較級を用いた最上級相当表現		
	イディオム	1	重要イディオムV	名詞を中心とするイディオム		
	名詞の語法	3	16 名詞の語法	158 不可算名詞の用法 159 意外な意味を持つ不可算名詞room 160 慣用的に複数形を用いる表現 161 複数形で用いると特別な意味を持つ名詞 162 意味の区別が紛らわしい名詞 163 「料金・お金」を表す名詞 164 「お客」を表す名詞 165 分数などを用いた表現 166 意外な意味が問われる名詞		
	代名詞の語法	3	17 代名詞の語法	167 one / it の用法 168 it の用法—形式主語/形式目的語 169 that / those の用法 170 所有代名詞の用法 171 both / either / neither の用法 172 none の用法 173 each / every の用法 174 most / almost の区別 175 another / the other / others / the others の区別 176 that節の代わりに用いるso と not 177 something / nothing などを用いた慣用表現 178 再帰代名詞の用法と慣用表現		
	会話表現	1	会話表現 I			
	主語と述語動詞の一致	3	18 主語と述語動詞の一致	179 関連的な表現の場合 180 most of A などが主語の場合 181 There + be動詞 + A の場合 182 the number of A / a number of A の場合 183 注意すべき主語と述語動詞の一致		
	疑問文	3	19 疑問文	184 疑問代名詞 185 疑問副詞 186 <how + 形容詞・副詞>の語順 187 間接疑問 188 Do you know + 疑問詞...? と 疑問詞+ do you think ...? 189 付加疑問 190 慣用的な疑問文		
	否定・倒置・省略・強調	3	20 否定・倒置・省略・強調	191 全否定と部分否定 192 否定を強調する表現 193 no / not を含まない否定表現 194 倒置 195 Neither / Nor / So に続く語順 196 so / as / too / how に続く語順 197 省略 198 強調構文 199 さまざまな強調表現		
	会話表現	1	会話表現 II			
合計時数(50分授業)	70					